

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測







◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 MANTRA	 Aave	 Ethena
中堅	 Pancake Swap	 Pendle	 Solayer
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。





TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 4/10

本分析ガイドは、Coinmarketcap (CMC) サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	上昇率7days
#19	 MANTRA	Layer1	¥955,744,959,852	¥992.18	29.54倍 (ETH比)	▲6.61%
#39	 Aave	Lending & Borrowing	¥310,107,508,326	¥20,539.18	—	▼9.17%
#48	 Ethena	Stablecoin Protocol	¥250,730,581,677	¥45.15	—	▼6.84%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap (CMC) で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▼0.95%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

MANTRA : OM



本銘柄は、直近3カ月で3度目の選出となります。

注目ポイント：MANTRA、1億ドルのRWAファンド設立でOMトークン需要増加へ

MANTRA (OM) は、2025年4/7に 1億888万8888ドル規模の「MANTRAエコシステムファンド (MEF)」を設立し、リアルワールドアセット (RWA) のトークン化を推進しています。このファンドは、Laser Digital(野村ホールディングスが設立したデジタル資産関連の子会社)や Amber Group(シンガポールに本社を置くグローバルなデジタル資産企業)などの主要パートナーと連携し、今後4年間で高潜在力のブロックチェーンプロジェクトに投資する計画です。 MEFの設立により、MANTRAチェーン上でのプロジェクト数や活動が増加し、ネットワークの利用価値が向上することが期待されます。今後のシナリオとして、MEFが成功裏にプロジェクトを支援し、エコシステムが拡大すれば、OMトークンの需要と価格は中長期的に上昇する可能性があります。特に、 ファンドからの投資が具体化し、新規プロジェクトが発表されるタイミングで需要が高まると考えられます。

Aave : AAVE

本銘柄は、直近3カ月で4度目の選出となります。



注目ポイント：Aave、歴史的なトークン買戻し決定

Aaveの直近の注目要因は、コミュニティ主導のトークン買戻し（バイバック）計画です。初回400万ドル（週100万ドル）から最大半年間、計2400万ドル規模で市場からAAVEを買い戻し、流通量を削減して価値向上を狙います。今後のシナリオとして、買戻し継続中は需給改善で価格が安定から上昇しやすく、市場好転と相まってさらに強気となる可能性があります。トークン需要が上がる具体的なタイミングは、週ごとの買戻し実施時やプロトコル収益拡大策（GHOステーブルコイン普及など）の成功時に顕著となりそうです。

Ethena : ENA

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。



注目ポイント：BNBチェーン展開で需要急増も規制課題が浮上

Ethenaは、BNBチェーン上でドル連動ステーブルコイン「USDe」と利付版「sUSDe」を正式にローンチし、主要DeFiプラットフォームへの展開で流動性とユーザーを急拡大しました。しかし、ドイツ規制当局BaFinが公開販売停止を命じるなど、規制上の課題も顕在化しています。中長期では、4/8に発表された多チェーン展開や独自L1チェーン「Converge」構想、機関向けiUSDe導入により、需要増加が期待されます。今後のシナリオは、規制対応が鍵を握ります。規制への前向きな対処が進み、他チェーン展開や新規パートナーシップなど具体的進展が発表されるタイミングでトークン需要が再度高まると予想されます。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 4/10

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap (CMC) における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#91	 Pancake Swap	DEX	¥81,055,602,674	¥278.76	5.98倍 (UNI比)	▲2.42%
#95	 Pendle	Yield	¥77,544,182,961	¥479.85	—	▲11.23%
#118	 Solayer	Restaking	¥53,581,972,794	¥255.15	—	▲16.33%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▼0.95%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、**とは** 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

PancakeSwap：CAKE

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：PancakeSwapが「Tokenomics 3.0」で大胆改革

PancakeSwapは、トークン経済を大幅に刷新する「CAKE Tokenomics 3.0」を発表しました。2030年までに供給量を20%削減、インフレ率をマイナス4%とし、veCAKEの廃止や取引手数料を買戻しバーンに回すことでCAKEの希少性を高める狙いです。この発表後、需給改善への期待からCAKE価格は一時約12%上昇しましたが、コミュニティ内では賛否が分かれ、長期的な需要への影響は不透明です。今後のシナリオとしては、提案承認なら一時的なアンロック売りを経て価格が底堅く推移し需要増加、拒否または修正の場合は既存ステーキング層の需要が維持される一方、新規流入は鈍る可能性があります。

Pendle : PENDLE

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：Pendle、Aave統合でトークン需要急拡大

Pendleは、大手DeFiプラットフォームAaveとの連携が実現間近となり注目されています。

Pendleのプリンシパルトークン（PT）がAave V3市場への追加提案で100%支持され、短期的にPENDLEトークンは約19%急騰しました。この提携によりPendleの利回り分離資産がAaveで担保運用可能となり、ユーザーや資金流入増が期待されています。中長期的にはPendleが「DeFi固定金利層」として広く認知され、実需が大幅に拡大するシナリオが考えられます。さらに他プロトコルとの連携やマルチチェーン展開が進めば、PENDLEトークン需要も継続的に拡大し、価格の安定的な上昇も見込まれます。トークン需要が明確に上昇するタイミングは、Aaveとの統合開始時や今後新たなプロトコル統合の発表時などが考えられ、その際に需要急増が予想されます。

Solayer : LAYER

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：Solana高速化技術「InfiniSVM」開発への期待

Solayerは、Solana向けのレイヤー2スケーリングソリューション「InfiniSVM」を通じて、トランザクション処理能力を100万TPS（Transactions Per Second）に向上させることを目指しています。この技術は、InfiniBand、RDMA、FPGAなどの先進的なハードウェアアクセラレーションを活用し、高速かつ効率的なトランザクション処理を実現します。今後のシナリオとして、InfiniSVM技術が予定通り実装されれば、Solana系プロジェクトからの採用が進み、LAYERトークンの需要は安定的に拡大するでしょう。トークン需要がさらに上昇するタイミングとしては、具体的な技術進捗の発表、新規提携の締結、主要取引所への新規上場などが考えられます。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 4/10

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から800位に位置する銘柄を調査し、成長性の高いものに「Goodマーク」を付与する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄における「Goodマーク」は、TOPや中堅銘柄の「Goodマーク」とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターン
のバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間のCMC推移
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudoi-platform.co.jp/>